



# SESERAGI-MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2011～2012年度 RI会長 カルヤン・パネルジー  
RIテーマ REACH WITHIN TO EMBRACE HUMANITY こころの中を見つめよう、博愛を広げるために

クラブテーマ「会員同志の職業を理解し出来ることはし助け合おう」会長 渡邊照芳  
副会長 太田政人 幹事 山田定男

## 第1061回 例会 2011.09.16(金)晴

司会: 瀬川幸信君 指揮: 柴崎恵子君(三島西RC)  
ロータリーソング「奉仕の理想」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F  
TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

例会場 ブケ東海三島

TEL. 055-984-0120  
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

### 会長挨拶

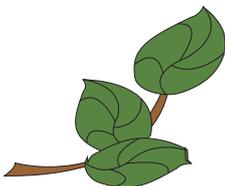
三島西RC会長 矢岸克行君



本日は積ガバナー、第2分区ガバナー補佐をお迎えしてのせせらぎ三島RCとの合同例会です。心より歓迎申し上げます。

1年に1回のせせらぎ三島RCとの合同例会であり、この例会を楽しみにしている会員さんも大勢いらっしゃると思います。後ほど、積ガバナーにはお話をさせていただきますが、その前に恒例の会長、幹事との懇談会があり、西クラブの特色、会の運営方法など説明してご理解をいただいたところです。新年度に入り早や2ヶ月経過、気持ちの上でも少し落ち着きが出て来る頃の公式訪問。年度の大きな行事のひとつです。

合同例会の設営は交代でやる事になっており、今回は三島西RCがホストとなっており、私が代表して挨拶させていただきました。どうかせせらぎ三島RCの会員の皆様、ごゆっくり例会を楽しんで、又、西RCとの旧交を温め、実り多い例会にして下さい。



ようこそせせらぎ三島  
ロータリークラブへ

積 惟貞ガバナー(沼津RC)  
渡邊雅昭地区幹事(沼津RC)  
小野篤之君  
(ガバナー補佐代理・御殿場RC)  
豊山徹也君  
(ガバナー補佐事務局・御殿場RC)

### 出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	26/33	78.79%	28/33	84.85%
今回	27/34	79.41%	会員総数	35名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

内田君、遠藤君、岡君、加藤君、田中君、中山君、山口(雅)君



### スマイルボックス

山本良一君: ガバナー訪問合同例会、西クラブの皆様には例会日変更をしていただき、ありがとうございます。

杉山 隆君: 休会させてもらっていました。復活しました。今後は頑張ります。

服部光弥君: ご無沙汰しております。久しぶりのホームクラブです。新富士RC、富士RCにメイキャップしていました。

## ガバナー挨拶

### 三島西、せせらぎ三島RCを公式訪問して

第2620地区ガバナー 積 惟貞君

本日は三島西、せせらぎ三島両クラブの合同例会に出席させて頂きました。二つのクラブはそれぞれ矢岸会長、渡辺会長を中心に極めて良好なクラブ運営と充実したアクティビティがなされています。アットホームな雰囲気の中にも活力があふれて感じられ、新しい会員を迎えればすぐに皆さんに溶け込むことができそうです。

さてカルヤン・パネルジーRI会長のテーマは「この中を見つめよう 博愛を広めるために」であります。レイ・クリンギン・スミス直前会長のカーボーイ・ロジックを芯とする外に向かった積極性に対して、パネルジー会長はインドの伝統的思考、「梵我一如」の宇宙観が基本にあると勝手に推察し、ロータリー活動のためには先ず自分自身を高めよと言われているものと解釈いたしました。「家族」「継続」「変化」の重点項目の中でとくに強調されたのが「家族」でありました。「家族がコミュニティーの基礎であり民族の盛衰は家庭の健全にかかっている。」との考えはマルチン・ルター以来職業重視とともにプロテスタントの基本的思想でもあります。そしてこれが近代資本主義のバックボーンとなりロータリーの活動もこのような社会環境でこそ発揮できるわけです。RI会長方針に従い、私たちもロータリー活動の中に家族の参加を出来る限り試み、先ずは家族にロータリーについてよりよく知っていただくべきであります。

さて前年度からRIの長期計画に従って中山直前ガバナーがさまざまな当地区の方針を決定し実行された上で私に引き継がれました。当然私はそのレールの上に乗って今年度の事業を施行する立場と認識しておりました。現在もその方針は変わってはおられません。しかし本年3月の大震災で事情が変わった部分があります。直前ガバナー会では前年度集められた基金をもとに被災遺児に対する育英資金とファイブフォーワンと称する被災クラブ救済制度を確立されました。しかし今年度はR財団の小澤トラスティーが日本だけの東日本震災復興日本委員会を立ち上げ、機動的に被災地支援に取り組んでいます。今年中は諸般の事情を踏まえ、こちらに資金を統一することが妥当と判断しております。いずれにせよ息の長い支援活動を継続することが必要と思われまますのでご協力いただきたく存じます。

ところで私自身は基本的にロータリーの親睦と職業奉仕に軸足を置いた思考の持ち主であり、例会を重視します。ロータリアンは例会に出席し自身を磨き、どこかに気高く美しい何かを持つ必要があると思います。それにはベテラン会員が出来るだけ若い会員にロータリーのあれこれを伝える努力が必要です。[縁尋機妙、多逢聖因]これは昭和の陽明学者、安岡正篤の言葉で、良い縁はさらに良い縁に繋がり、幸せに通ずるという意味だそうですが、これこそロータリーの真髄であり、ロータリアンの特典でもあります。それは皆様方一人ひとりが若者に尊敬の念を持たれるようなロータリアンを目指すべきと言うことでもあります。

